

## 令和5年度 第3回桐生市総合戦略推進委員会 議事要旨

○日 時 令和5年11月21日（火）午後6時30分～午後7時20分

○場 所 桐生商工会議所 6階 ケービックホール

○出席者 25名

### 【委員】18名

|      |                           |        |
|------|---------------------------|--------|
| 委員長  | 群馬大学 副学長・大学院理工学府 教授       | 板橋 英之  |
| 副委員長 | 桐生市総合計画審議会 副会長職経験者        | 新居 理恵  |
| 委員   | 桐生商店連盟協同組合 副理事長           | 茂木 理亨  |
|      | 桐生市農業委員会 会長               | 今泉 芳雄  |
|      | 桐生広域森林組合 参事               | 栗原 和人  |
|      | 群馬県桐生みどり振興局 局長            | 尾内 文彦  |
|      | 桐生市立商業高等学校 校長             | 林 順一   |
|      | 桐生信用金庫 専務理事               | 松島 修   |
|      | 足利銀行 桐生ブロック統括支店長          | 大谷 章喜  |
|      | 群馬銀行 桐生支店長兼桐生南支店長兼あいおい支店長 | 島田 直樹  |
|      | 桐生公共職業安定所 所長              | 久保田 政夫 |
|      | (株)桐生タイムス社 取締役事業推進室長      | 小澤 義明  |
|      | 桐生市区長連絡協議会 会長             | 茂木 新司  |
|      | (一社)きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長  | 近藤 圭子  |
|      | NPO法人キッズバレイ 代表理事          | 星野 麻実  |
|      | 桐生市PTA連絡協議会 会長            | 猪俣 真也  |
|      | 一般社団法人桐生青年会議所 直前理事長       | 深澤 佑太  |
|      | 2015年からの生活交通をつくる会 会長      | 佐羽 宏之  |

### <欠席者>

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 桐生商工会議所 会頭           | 靱山 和久 |
| 桐生刺繍商工業協同組合 会計理事     | 松平 朋憲 |
| 桐生市社会福祉協議会 常務理事      | 大木 茂雄 |
| 桐生市医師会 理事            | 東郷 望  |
| 桐生市婦人団体連絡協議会 体育振興部担当 | 間中 一枝 |

### 【桐生市】7名

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 市長                 | 荒木 恵司  |
| 副市長                | 森山 享大  |
| <事務局>共創企画部長        | 西條 敦史  |
| 共創企画部企画課長          | 橋本 頼孝  |
| 共創企画部企画課企画戦略担当係長   | 森下 英明  |
| 共創企画部企画課移住定住推進担当係長 | 馬場 秀穂  |
| 共創企画部企画課企画戦略担当     | 伊藤 美和子 |

○報道関係 1社

○傍聴者 なし

○会議内容

1 開 会 [ 開始 : 午後 6 時 3 0 分 ]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により会議が成立することを報告。

2 挨拶

- ・荒木市長から挨拶。

3 議 題

(1) 「第 2 期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (改定案)」について

- ・資料 1 及び 2 に基づき、事務局から説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

|             |  |
|-------------|--|
| 委員          | 資料 2 の 6 ページ、(2) 桐生ならではの地方創生において、「NPO 法人」と記載がある。「NPO 法人」だと範囲が限定されてしまうが、「NPO」とすれば、あらゆる市民活動団体などを含むことができるので、修正した方がいいのではないか。 |
| 事務局<br>(部長) | 委員ご指摘のとおり修正を検討したい。   |
| 委員          | 同じく資料 2 の 6 ページ、(2) 桐生ならではの地方創生において、「ゆっくり<br>ズムのまち桐生」を推進していくならば、連携する機関に群馬大学が入るべきな<br>のではないか。                             |
| 事務局<br>(部長) | 委員ご指摘のとおり修正を検討したい。   |
| 委員長         | 同じ 6 ページの「(1) 目標とする将来人口」において、「出生数を微増させる」<br>という表現は少し消極的な感じがするので、「増加させる」という表現の方がい<br>いのではないか。                             |
| 事務局<br>(部長) | もちろん増加を目指していきたいが、現状を勘案して「微増」という表現にし<br>ている。  |
| 委員長         | 「微増」では弱い感じがする。「増加」がいいのではないか。   |
| 事務局<br>(部長) | そのような形で修正を検討したい。   |
| 委員長         | それでは、先ほどのご意見を事務局において修正し、本委員会の最終案として<br>よろしいか。  |
|             | (一同承認)   |
| 委員長         | それではそのようにさせていただく。  |

(2) 移住・定住に関するワンストップ相談窓口「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生」の取組について

- ・資料3に基づき、事務局から説明。
- ・KPIの上方修正について、承認をいただく。
- ・その他意見、質疑応答は以下のとおり。

|             |   |
|-------------|---|
| 委員          | ただいまの説明で非常によくわかったが、敢えて意見を言うならば、起業・店舗開業を希望する若い世代をターゲットとするのもいいが、退職して第二の人生を始めるようなシニア層についても今後検討していくといいのではないかと。農地付き空き家等を活用して老後の田舎暮らしを打ち出してシニア層を取り込んでいる自治体もあると聞く。   |
| 事務局<br>(部長) | メインターゲットは起業・店舗開業を希望する若い世代であるが、もちろんそれ以外の移住希望者も対応している。まずはメインターゲットである起業・店舗開業希望者向けの取組を着実に遂行し、その後シニア層に向けた取組も検討してまいりたい。   |
| 委員          | シニア層が来れば、その子どもや孫たちも桐生に遊びに来る。そこで桐生を気に入って移住してもらえるとという可能性もあるので、ぜひ検討していただきたい。   |
| 市長          | むすびすむ桐生は、桐生に住んで起業したい、店舗を開きたいという人たちをメインターゲットとして開始した取組であるので、事務局が述べたとおり、まずは現在のターゲットに絞った取組をしっかりと進めてまいりたい。しかしながら、委員からいただいたご意見は非常に大切な部分だと思う。<br>そのような中、重伝建地区に移住された東京藝術大学准教授の宮本武典さんは、アートとまちを結びつけることをテーマに様々な方を桐生に呼び込んで活動をしていたり、また、同じく桐生在住であり星野源さんなどの楽曲を担当した音楽家の mabanua さんは、シニア層がよく聴くラジオで番組を持っていたりして、こうした著名な方々の活動はシニア層へのアプローチにもつながるので、市としても将来的には幅広く検討を進めてまいりたいと考えている。 |
| 委員長         | 移住相談会において、桐生でどんな暮らしができるのかと聞かれるとのことだが、例えば桐生市の特徴であるゆっくりズムのまちをテーマにして、桐生で暮らすとこんな幸福感が得られるというようなイメージを作ってPRできるといい。<br>また、測量した空き家を3D化してネットで公開すれば、たくさんの人に興味を持ってもらえると思うので、デジタル技術も活用すると思う。   |
| 事務局<br>(部長) | ご提案のように、今後デジタル技術なども活用できるよう検討してまいりたい。<br>また、ゆっくりズムはこれから様々な形で市政に取り入れて具現化を図っていくことになるが、その中でしっかりと市外の方にもPRしてまいりたい。  |

|      |  |
|------|--|
| 副委員長 | <p>私はワーキンググループで委員長を務めさせていただいたが、ワーキンググループで課題とされた発信をととても頑張ってください、また、相談対応についても、窓口を利用した移住者数はまだ0人だが、移住に向けて準備している人が何人かいるのではと思います、早く1になることを期待している。先ほど委員長がおっしゃったとおり、様々な技術などを活用して発展して欲しい。</p>   |
| 委員   | <p>むすびすむ桐生が開設してから、相談対応だけでなくまち歩きもして、リアルに移住したい人の声を聴いたり、まちの人とコミュニケーションが取れるようになってきた。</p> <p>また、東京で行っている移住相談会では、相談会に参加して実際に桐生に来てくれる人もいて、そのような人たちに向けて如何に桐生の魅力を伝え、まちの人に会ってもらい、ゆくゆくは、先ほど茂木委員がおっしゃった子や孫世代にも来てもらうという話のように、家族や友人も連れてきてもらえるように、丁寧に進めてまいりたい。</p> <p>委員の皆様にも、会議の場でなくとも、日頃からご意見やご提案があればいただけると有難い。</p>                                     |
| 市長   | <p>移住・定住に関わる取組として、今後の取組を紹介させていただく。</p> <p>まず、群馬県のデジタル人材の育成拠点「tsukurun」のサテライト施設を桐生駅南口の保健福祉会館内に開設予定である。また、東京のISI学園と包括連携協定を結び、市内の全高校を推薦入学指定校に選定するとともに、ISI学園の学生が桐生市に就職・移住するよう機運醸成を図ることとしているほか、群馬大学や桐生大学とも引き続き連携を図っていく。令和7年4月には角川ドワンゴ学園の第三N高が旧桐生女子高校跡に開校する予定であり、これらの取組を移住や起業と絡めながら進めてまいりたいと考えている。</p> <p>委員の皆様方には引き続きご意見・ご提案を賜るなどご協力いただきたい。</p> |
| 委員長  | <p>質の高い教育は移住・定住を考える上で非常に大切な分野であるので、ぜひ進めていただきたい。</p>  |

#### 4 その他

- ・事務局から、次回開催日程について事務連絡。

#### 5 閉会 [ 終了：午後7時20分 ]